

皮膚科 研修プログラム【選択】

【研修期間】1～3 ヶ月（それ以上は要相談）

【一般目標】

1. 皮膚疾患全般に関する基本的な知識と診察能力、診断能力を身につける。
2. 皮膚疾患に対する治療法を適切に選択し、初期対応できる能力を身につける。
3. 緊急性のある皮膚疾患、皮膚科専門医への診察を依頼すべき疾患を的確に見極め、判断する能力を身につける。

【行動目標】

1. 正常な皮膚構造と機能を理解する。
2. 皮膚所見の診察方法とカルテ記載方法を修得する。
3. 皮膚検査や主な治療を理解する。
 - ・検査：真菌顕微鏡検査、ダーモスコピー、皮膚生検、パッチテスト
 - ・治療：局所療法（主にステロイド外用薬の副作用と使い方を理解する）、
全身療法（抗ヒスタミン薬、ステロイド内服薬など）
手術（まずは縫合を習得する、その後皮膚腫瘍摘出術、皮弁作成術などを経験）
4. 主な皮膚疾患を理解する。
 - 皮膚炎・湿疹、じんま疹・痒疹・皮膚そう痒症、紅斑・紅皮症、薬疹、
 - 血管炎・紫斑・その他の脈管疾患、膠原病および類似疾患、
 - 物理化学的皮膚障害（ex. 熱傷、褥瘡）、水疱症・膿疱症、角化症、色素異常症、
 - 代謝異常症、真皮・皮下組織の疾患（ex. 肉芽腫性疾患、結節性紅斑）、付属器疾患、母
 - 斑、皮膚腫瘍（良性・悪性）、感染症（ウイルス・細菌・真菌・抗酸菌）、性感染症、
 - 節足動物などによる皮膚疾患

【週間スケジュール】

平日：（午前）外来診療、（午後）病棟診察

毎週火曜日午後：パッチテスト、褥瘡回診

毎週月曜日・木曜日午後：皮膚生検、手術（必要に応じて、その他の曜日も適宜施行）

【評価】

研修終了時に、自己評価および指導医による評価を行う。